

Protein L を用いた ラットモノクローナル IgG1 精製

精製の流れ

Rat IgG1 含有腹水
(10 mL/mL gel)
↓
PBS にて 5倍希釈
↓
Protein L HC-S に添加
↓
振とう (25°C, 1時間)
↓
洗浄 (PBS)
↓
0.1 M Glycine-HCl (pH 2.5) 溶出

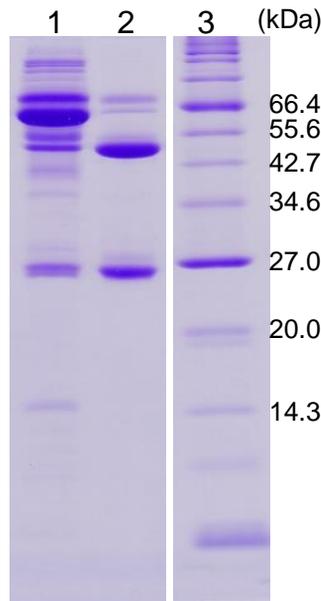
ラットIgG1 結合量

結合量 : 16.7 mg/mL gel

電気泳動結果

SDS-PAGE
ゲル : 15 % (Tris-Glycine)
染色 : CBB

レーン 1 : 腹水
レーン 2 : Eluate
レーン 3 : MW marker



ラット IgG1 含有腹水から Protein L-Agarose HC-S を用いてラットモノクローナルIgG1 の精製を検討した。収量を測定した結果、腹水 10 mL/mL gel の処理から 16.7 mg/mL gel のラットIgG1を精製することができた。また精製 IgG の純度を SDS-PAGE にて調べた結果、精製純度は良好であった。

プロテノバ株式会社

〒769-2604
香川県東かがわ市西村1488番地1
TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703
ホームページ <http://protenova.com>